



発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第325号

ホームページアドレス <http://www1.com.ne.jp/~mizumaki>

「ありがとう」 マヘル神父

毎月クリストフオール会と一緒に病人に御聖体を持って行くときに、たくさんのお年寄りの人に出会っています。日本の社会が本当に高齢化社会になったと目に見えてきました。色々な状態が出てきます。もちろんまだ元気で自立的に暮らす方もいらっしゃいますが、杖で歩く人から寝たきりの状態の方まで、一人一人が年配の人生に向かって生きています。病人、特に寝たきりの人を訪問するときに、この時間をもっと豊かにすることができるのではないかという思いが浮かんできます。この方は解るかな？少なくとも大きな声で祈りをしたら聞こえるでしょう。神様があなたを愛して下さるよう、許して下さい、一緒にいて下さるよう、しかし言うことができません。この人のために意味があるかなーと自分に問いかけてきました。

その時に数年前に聞いた話を思い出します。ある男性Tomさんが重い精神病の方を奉仕の気持ちで訪問しました。その患者さんは部屋の角に向かって座ったまま何も話しませんでした。Tomさんは毎月半時間くらい、その方とお付き合いしようと思いました。一年くらい通いましたが、その間患者さんは何も話しませんでした。Tomさんは転任する前に最後の出会いに意識してない患者さんに説明しました。仕事で転任しますので今日が最後です「ガンバッテネ」と半時間訪問の後帰りました。部屋から出るときに低い声で「アリガトウ」と聞こえてきました。今の社会が高齢化社会になったと確信していま

す。教会の信者もしくは回りの人々の間に色々なケースが起こります「あの人は忘れっぽいね」「ボケたねー?」「寝たきりになったねー」とよく聞きます。私達は年寄りの世話をする生活が突然にやってきて、生活がメチャメチャになることも考えられます。時間が経過すればするほど幸福であれば新しい状態に慣れてきますが、たくさんつらいこともあると思います。私は皆さんの状態を良く知りませんがある訪問で強く感じました。寝たきりの御主人を今でも毎日病院に通って彼女はお世話をしています。御自宅でお世話をしていたように愛をこめて熱心に丁寧にお世話をしていました。本当の愛を私は見たように感じました。この辛い状態の中に本当の愛が生まれてきたのではないのでしょうか。私達の試練の中に愛を習って本当の幸福が見つかるという気がします。今日をささげる祈りをおもいだしました。

一日の始まりの時に、神とそして出会う人々に、きょうのあなたをささげ、一日を閉じる時に、神として出会った人々に、ありがとう、ごめんなさい、よろしくおねがいします。と心の中で語りかける日々を重ねてまいりましょう。

新役員挨拶	2面
パウロの歩いた道	3面
委員会報告	4面
信徒総会	5・6面
小笠原知子さんの講演・聖人	7面
お知らせ・教会学校	8面



新小教区委員長 濱口 学さん挨拶

委員長の濱口です。

先の信徒総会では承認いただきありがとうございました。これから2年間至らぬこともあるかと思いますが、ご指導、ご鞭撻をお願いします。

今回、委員長の話しを受けた時に、2つの目標を立てました。

- ・信者さんを増やしたい
- ・また来たいと思う教会にする

この目標に向け、地区役員、委員さんと力を合わせ頑張ります。

皆様のご協力の程をお願いします。

先の信徒総会でも言いましたが、何かありましたら「良い意見」「悪い意見」どちらも構いません。どんどん言ってください。直接言い難い事があれば、聖堂のご意見箱、地区役員、各委員さんに伝えてください。ただし、条件があります。


前向きな、建設的な意見をください。

意見が通らなくても、苦情や文句は言わないでください。


まったく逆な意見など、いろいろな意見があります。

そして、色んなお願いをすることはと思いますが、無理はしないでください。

今年は大きな行事として親睦会、堅信式があります。みなさん協力をお願いします。



新総務委員長 上川 直子さん挨拶



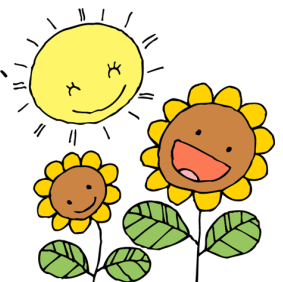
今年度、総務委員長になりました、上川直子と言います。

今回、役員とのお声がかかり正直驚きました。私に役員の仕事ができるかと考えましたが、引き受けさせて頂きました。

それぞれの役員、委員、地区の方々、この水巻教会を支えていると言う事、自分が役員になって一番最初に思いました。

初めての事で分らない事だらけで、務まるかなとかなり不安ですが、皆さんと協力して、少しでもお役に立ちたいと思います。

微力ですが、頑張ります。どうか、宜しくをお願いします。



パウロの歩いた道 No.5

バルナバとパウロが出発して最初に訪れたのはキプロス島でした。この島は地中海で一番大きい島です。今はこの島が二つに分裂して半分がトルコ、半分がギリシャに属しています。パウロが行ったころの遺跡もたくさん残っているようです。バルナバはこの島の出身であったとされています。

一行はキプロスのパフォスから船出して、トルコ南部のパンフィリア州ベルゲに渡りました。ここで大きな出来事が起こります。一緒に旅をしていたヨハネがエルサレムに帰ってしまったのです。(13章13節)この出来事は二回目の旅に大きな影響を残しました。(15章37~39節)

ベルゲからピシディアのアンティオキアへは非常に厳しい道でした。使徒言行録は「パウロとバルナバはベルゲから進んで、ピシディア州のアンティオキアに到着した」(13章13節)と1節だけの記述です。しかし、この間は直線距離で150km、歩く道は250kmもあります。海岸から始まった標高差はキリキヤ州から続く2000m以上のタウロス山脈があります。現代のこの道は、中部の大都市コンヤ(聖書の時代はイコニオン)から海に出る立派な幹線道路ですが、パウロの時代は山賊が出る危ない道であったとパウロは書いています。(2コリント11章26~27節)パウロたちはこのような危ない道も福音宣教のためにとおりました。この旅の途中にはいくつもの湖があります。その中にはトルコ石のような雄大で美しい色の湖もあります。どうしてそのような色に湖水がなっているのかは、ガイドに聞きましたが良く分かりませんでした。パウロが登って行った時も同じ色をしていたのでしょうか。

ピシディア州のアンティオキアは、海から登ったアナトリア高原の一角にある標高1230mの地点にあり、パウロが訪れたころはガラテアの大都市でした。中世には町は滅び忘れられていましたが、1833年にイギリス人の司祭によって発見されました。発掘は1980年代に入ってから始められましたが、大きな都市の遺跡です。町の外れには山の方から水を引くためのローマ式の長い水道橋も残っています。どれだけの人たちが住んでいたのでしょうか。

安息日にパウロが入って説教をした会堂の後も残っています。(13章16b~41節)この会堂の広さは水巻教会くらいありますので、この街には多くのユダヤ人が住んでいたことが分かります。

このときのパウロの説教はユダヤ人だけでなく、多くの異邦人やギリシャ人の共感者を生みましたが、一方で激しく反発するユダヤ人たちも現れましたので、二人はアンティオキアから追い出されてしまいました。

その後、二人はイコニオンに行きました。この街は後世イスラム教の一派で踊る宗派で有名な街となり大いに栄えましたので、パウロの時代の遺跡はほとんど残っていません。

ここでも多くの異邦人やギリシャ人の共感者を生みましたが、アンティオキアから追いかけてきたユダヤ人たちによって追い出されてしまいました。

委員会等報告

2014年6月分

6月度 小教区委員会

6月1日

議題1. 前委員会の議事録確認

議題2. 先月の行事報告

納骨堂利用者集会 4月27日(日)

信徒総会 5月11日(日)

議題3. これからの活動予定

●大人の日曜学校 6月15日 ミサ後

浜口、上川、吉永各氏の講話

●北九州信徒協主催聖書講座

小倉教会 6月29日

●教会学校 子どもの集い

7月19日(土)の予定。日曜案もあるが、小学生が少ない。募集には中高生も含める。協力を仰ぎたい。

議題4. 賢信式

堅信式を実施して欲しいとの要望有。司教様は快諾 …11月30日予定

議題6. 種々の話題

・北九州青年歓迎ポーリング大会 6月22日

・11月の神学院召命の集い不開催。東京の神学院の行事との掛け持ちで人手不足。
◎平和の集いの準備会合があり、日曜学校の小グループ代表が出席する。

◎戦争体験の話を持ちたい

(意見) 水巻教会にて、戦争体験の話を聞きたい。ミサ後、1時間程。対象は子ども。

(意見) 盆・8月にこだわらず年間を通してなら、語り部ができる人を頼めるかも。

議題5. 各地区報告

次の要望・意見に対して議論があった。

地区より意見 3点、意見と質問があった。

◎名簿が欲しい。→配布予定。名簿紙面の人名に色分けもあり。

◎「聖体拝領を神学生から頂きたい」→現在、正式な資格がない。

◎駐車場基金は、裏(の土地)の購入に必要ではないか。駐車場基金を、営繕(このたびの外壁・塗装等工事)費用には入れて欲しくない。納骨堂費用の使用にも異議がある。納骨堂購買者は、その専用の目的で、維持費を払ってきた。他に使うべきでない。

(駐車場についての応答)

・別な財政帳簿を作らない様、教区から指導を受けている。納骨堂は、教会補修にも使いたいとした。金銭が集まったので、拡大解釈された。

・前聖堂建設では1億2千万円寄付が集まった。1億円使用し、2000万円残り、これは引いては納骨堂基金にも入れられた。納骨堂は、教会の中に入っている。(だから補修にも使用可能と考える。)

・納骨堂基金は、次の3つを合算してできた。(1)建設資金残り550万円、(2)北九州納骨堂協賛金により530万円、(3)納骨室売却465万円。合計1400万円程度

・駐車場「基金」とされるが、しかし基金と云っても購入はできないかもしれない。

・総会でも発言があったが、教区費は満額、即ち教区費は100万円払うべきだ。(支払いを規程どおり行っている方が得策ではないか。)

2014年 信徒総会

濱口新委員長よりの記録原稿を提示します。但し、広報委員会から1文(ボールド体+下線)を付け加え、進行、挨拶、重複していると思われる文章では省略した部分があります。文章のてにをは、語尾を揃える点で微調整、文章や意見内容が分割できる場合には、番号付けしました。

1. はじめの祈り
2. 主任司祭挨拶(省略)
3. 2013年度年間行事報告
4. 2014年度年間行事計画(案)
5. 2013年度会計報告、会計監査報告
6. 2014年度予算(案)

昨年度と今年度の大きな違いが3点ありその説明を行い、了承を得た。

①：金額が増えていること。これは、教会正門工事があったため。この金額を除けば、実質昨年と去年の違いは余りありません。②：司祭の給与に関して邦人司祭と宣教会の神父さんの扱いが違うところ③：3年周期で実施している「司教様の公式訪問」「巡礼旅行」「小教区祭」などがあった時に出てくる違い。

会計監査報告

今年度の予算案には外壁塗装工事に関して、まだ準備中ということもあって計上していない。資料について昨年度と違う箇所として、維持費関係の金額等が記載されていないが教区ブックに収入の3割と記載されているので今回から外した。また水巻教会の駐車場献金については引き続き協力をお願いしますと委員長からお願いがあった。

週集会計発表

記載ミス。ラシーヌの会第4週金曜日とシーバの会の継続について質疑応答があった。神父から「2人の方が勉強会に参加する予定」と発表があった。今年は役員改正があったので新役員、地区役員さんの紹介。高須青葉地区の地区委員は、未定と報告。

7. その他の質疑応答

●委員長から一言挨拶：2つのことを実行したい。「教会に信者さんを集めたい」「教会に来たいと思える雰囲気を作りたい」と考えている。委員さんの協力のもと、2年間やっていきたい。また委員さんをお願いしたいことは無理をしないでほしいと思っている。委員さんに、余り文句を言わないでほしい。一生懸命やっていると気分的に落ち込みます。また、色々な意見が頂きたい。例えば、昨年神父さんがクリスマス前に案内の手紙を出した時、私は正直あまり意味がないと思ったが後日、この手紙を読んで教会にもう一度足を運んだ人がいた。この姿を見て喜び、こんな召命もあるのだと感じた。

質疑応答

質疑：予算案の基準3%だけになっているが、資料に金額を載せてほしい

質疑：行事計画案を推進するグループを明確にして行事を進めてほしい。

応答：資料の掲載について、両方の意見があったが今回は掲載していない

質疑：目安の金額を入れる必要がある。所得の3%の表示は多すぎる。

質疑：委員長の選任はすぐに決まった経緯は納得がいかない。公選ということになっているのだから、一度時間を置いて決める必要があったのではないか。

質疑：委員長の発言に賛同して協力したい。10年後に若い世代が集まっているような教会を目指してほしい。外壁塗装工事をやるにあたって、部会を作って作業を進めてほしい。無駄使いにならないように使ってほしい。

意見：①会計報告について、駐車場基金が建設献金とまとめられているのはおかしい。

②教区分担金が少ないのではないか。③共助組合関連の使用について異議がある。

質疑：外壁塗装について委員会で出した見積もり金額を比較して単純計算しても250万でできるはずだが、高すぎるのではないか。

応答：外壁塗装の工事費用は駐車場献金、営繕積立から出したい、その点については了承していただきたい。部会メンバーの推薦については厳しい意見もあった。外壁塗装の部会長は委員長（濱口）がやりたい。途中経過はからしだね、後ろの掲示板等でお知らせしたい。

質疑：部会に参加するメンバーを推薦してもよいのか

応答：良いが、推薦された人がメンバーに必ず入る訳ではないことを理解ください。

意見：①部会人選について、今まで自薦、他薦をしてきた。教会建設に関しても部会を作ってやってきたのでそのやり方でいいのではないか。

②委員長の所信は総会資料に明記した方がよいのではないか。

応答：委員長の所信は、からしだねに載せることになっています。

意見：駐車場の車止めを早く作ってほしい。エレベーターの設置についても検討頂きたい。

応答：以前にも話のあった内容であり、対応の遅れについては申し訳ないと思っている。

意見：水巻教会で初めて若い人が委員長になられて対処の仕方に不安な所があるが先輩方は是非、若い委員長を助けて頂きたい。10年後の未来の教会は存在しないと思うので皆さんで盛り上げていこう。

質疑：部会長への厳しい発言逆指名の発言について、反対したい。教会のあるべき姿ではないと思う。

質疑：教会学校のリーダーの自宅にある人から電話があって暴言をはかれたことがある。そんなことがある教会なのだから、心遣いのある教会にしたいし、各リーダーを助けてあげたい、委員長を助けてあげてはどうか。

質疑：教会は建物ではなくキリストを通して人と人とが繋がり共に祈り生きる場所。お金の話をすることも大切だがそれより発展的な共同体としてどのような歩みをするべきか話し合うことが大事。その姿を子供たちは見ていると思うし、教会に来ている子供たちを皆で育てていくことが大事。将来どの位の人が教会に集まっているかではなく、一人一人が意識を変えて自分はこの教会のために何ができるのか、共に考え歩んでゆきたい。

質疑：外国籍の方たちがこの教会には居りもっと活用してほしい。外国籍の方たちのために教会を活用してほしい。応答：委員長として足りない所があるかもしれないが宜しく願います



小笠原知子さんの講演(5月18日)を聞いて

神学生 エリック・デ・グスマン

18日のミサ後には、信者の小笠原知子さんによる講演会がありました。お話をしてくださった小笠原さんは心理学を専攻として勉強し、数年アメリカで生活をしてから日本に帰国し、現在、翻訳やカウンセリングのお仕事をしています。

講演のテーマは「家族」で、講演を聞いている多くの方々に①家族の構成について（家族は何人いますか、誰が家族ですかなど）、②家族はどんな存在か（同じ場所、食事を一緒にする）など問いかけがありました。最後に、家族と共同体について、特に、家族が困っているときに、共同体がどうやってその家族を支えるべきかについて、心理学の観点からの意見を頂きました。東日本大震災で被災された家族と所属していた共同体を例としてあげられました。問いかけられた中学生の皆さんは積極的に答えたり、お話を真面目に聞いたりしていました。三世代が一緒に住んでいる場合、①夫婦関係、②親子の関係、③祖父母と孫の関係中に、どちらかが大切なのかと聞くと、国と文化によって回答が違うということは面白いです。例えば、欧米では、夫婦関係が大切で、アフリカとアジアでは、親子の関係が強いとよく言われているそうです。また、自分の家族にペットも数えている人も数人いました。

本日のお話を聞き、家族についてとてもいい勉強になりました。神学院でも、一つの共同体として、共に食事することを大切にしています。

わたしは、本日の講演を聞き、フィリピンにいる自分の家族にまた会いたい気持ちが高まりました。



今月の聖人

22日 聖マリア (マグダラ) 1世紀

エルサレムの裕福な家に生まれ、幼くして両親を失い、兄のラザロと姉のマルタといっしょに暮らしていたといわれる。自由奔放な生活をし、やがて7つの悪霊につかれて苦しみ、人々から「罪の女」というレッテルをつけられて疎まれるようになった。そのときに、イエスと出会い、悪霊からも解放され、真の愛を知って回心し、徹底して信仰の道歩んだ。復活したイエスが最初に現われたのは、このマリアにであり、彼女が他の弟子たちにイエスの復活を告げた。その後は、使徒たちの宣教活動を助けて、兄ラザロとともに南フランスに流され、隠遁生活のうちに生涯を送ったといわれる。





7月のおしらせ

★特別献金★

○5月25日

世界広報の日献金

27,100円

ご協力、ありがとうございました。

★教会の図書室より★

信徒会館の会議室2の部屋に、図書室があります。教会や聖書、聖人に関するたくさんのお本があります。多くの人に手に取って読んでいただきたいので、是非図書室の本を活用してください。



【帰天】安らかに！

◇堂前 照子さん（海老津地区）

★特別寄付★

赤間地区の堤田さんのご親戚の鈴木様より、ご寄付をいただきました。

ありがとうございました。



教会学校のページ

5月25日

★7つの身体的・精神的な慈善の技について、具体的な事例をあげて、お話がありました。

★聖人となられた、前教皇ヨハネ・パウロⅡ世のなされた偉大な業績を学びました。

6月8日（4人の中学生が参加しました）

★霊の七つの賜物、聖霊の実りについて、意見を交わしました。

その後、エリック神学生が分かりやすく説明をしてくださいました。

★ 堅信による恵みについてのお話がありました。

6月22日

★「いちばん大切なもの」という紙しばいを読みました。イエス様のお話＝神父様のお話＝教会に来ることが大切です。

日曜日教会に来て、ご聖体をいただくことは心の栄養になるので、一週間がんばって日常生活を送りましょう。

